

2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年8月11日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7957 URL http://www.fujicopian.com
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)光本 明
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)上田 正隆 (TEL)06(6471)7071
 四半期報告書提出予定日 2021年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	4,332	7.6	251	295.5	301	291.5	254	784.5
2020年12月期第2四半期	4,027	△13.4	63	△84.5	77	△81.2	28	△89.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 323百万円 (—%) 2020年12月期第2四半期 △107百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	166.45	—
2020年12月期第2四半期	18.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	16,095	10,354	64.3
2020年12月期	15,904	10,092	63.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 10,354百万円 2020年12月期 10,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	8,400	11.3	300	—	350	—	270	—	176.36	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年12月期 2 Q	1,789,487株	2020年12月期	1,789,487株
2021年12月期 2 Q	258,584株	2020年12月期	258,435株
2021年12月期 2 Q	1,530,952株	2020年12月期 2 Q	1,531,077株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や生産の持ち直しの動きがみられたものの、新型コロナウイルス感染症の拡大により断続的に緊急事態宣言が発令された影響を受け、厳しい状況が続きました。ワクチン接種の進展により経済活動の回復期待が高まる一方で、変異株の世界的再拡大、米中問題の長期化への懸念などから、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当グループを取り巻く事業環境におきましても、新型コロナウイルス感染症の流行拡大にともない、国内外の移動制限や取引先の生産活動の減少などにより事業活動に多大な影響が生じ、主力のサーマルトランスファーメディアの市場をはじめとして環境の厳しさが一層増してきております。

こうした状況のもと、当グループの強みである創造型企业としての技術基盤をもとに、新製品の開発および新市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりました。

特に、当第2四半期連結累計期間における販売面につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を比較的受けにくい市場への販売に注力するなどの拡販活動を展開いたしました。

一方、生産面におきましては、海外生産拠点であるエフシー ベトナム コーポレーション(当社子会社)の活用強化による生産効率化、グループ全体でのコスト削減の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、主力製品を中心に拡販に努めたことにより、43億3千2百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

利益面におきましては、親会社の業績回復基調に加え、子会社の業績が引き続き堅調に推移し、また、グループを挙げた生産の効率化によるコスト削減に取り組みました結果、営業利益は2億5千1百万円(前年同期比295.5%増)となりました。経常利益は円安にともなう為替差益の計上などがあり、3億1百万円(前年同期比291.5%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の計上などにより、2億5千4百万円(前年同期比784.5%増)となりました。

また、品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

サーマルトランスファーメディアは、新型コロナウイルスの影響を受けにくい分野に対して、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めました結果、23億1千万円(前年同期比4.3%増)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開しましたが、3億5千5百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

テープ類は、主要顧客を中心に需要が回復基調にあり、10億7千5百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

機能性フィルムは、電子材料分野を中心に拡販に努めるとともに、新規開発分野の売上が徐々に寄与しはじめており、2億2千1百万円(前年同期比25.9%増)となりました。

その他は、3億7千万円(前年同期比5.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、160億9千5百万円(前連結会計年度末比1.2%増)と、前連結会計年度末に比べ1億9千万円の増加となりました。これは、主に借入金の返済などにより現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金が増加したことなどによるものであります。

負債は、57億4千万円(前連結会計年度末比1.2%減)と、前連結会計年度末に比べ7千2百万円の減少となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が増加した一方で、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)などが減少したことによるものであります。

純資産は、103億5千4百万円(前連結会計年度末比2.6%増)と、前連結会計年度末に比べ2億6千2百万円の増加となりました。これは、主に利益剰余金の増加などによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の内部留保などにより、4億8百万円の収入となり、前年同期比では、1千7百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出などにより5億2千5百万円の支出となり、前年同期比では1千2百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出などにより2億9千4百万円の支出となり、前年同期比では5億1百万円の支出の増加となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、期首残高に比べ3億8千8百万円減少し、41億9千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、2021年2月12日発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日発表しております「2021年12月期 第2四半期累計期間の連結業績予想数値と実績の差異および通期連結業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,578,459	4,190,224
受取手形及び売掛金	1,777,418	2,117,310
電子記録債権	608,530	636,311
商品及び製品	581,094	555,849
仕掛品	541,320	580,275
原材料及び貯蔵品	450,678	517,743
その他	71,920	72,136
貸倒引当金	△2,429	△2,659
流動資産合計	8,606,995	8,667,190
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,403,623	2,328,212
機械装置及び運搬具（純額）	1,378,064	1,443,316
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	13,758	96,027
その他（純額）	402,657	363,109
有形固定資産合計	5,878,027	5,910,590
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	—	47,500
その他	58,904	56,051
無形固定資産合計	58,904	103,551
投資その他の資産		
投資有価証券	1,182,007	1,229,269
その他	178,869	184,488
投資その他の資産合計	1,360,877	1,413,757
固定資産合計	7,297,809	7,427,899
資産合計	15,904,804	16,095,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,999	558,535
電子記録債務	686,202	718,332
短期借入金	92,254	115,259
1年内返済予定の長期借入金	420,364	309,177
リース債務	14,190	12,865
未払法人税等	21,747	70,592
未払消費税等	9,511	8,616
設備関係支払手形	1,969	335
設備関係電子記録債務	240,166	43,092
その他	275,898	435,105
流動負債合計	2,221,305	2,271,911
固定負債		
長期借入金	2,538,991	2,405,863
リース債務	23,997	18,058
長期末払金	7,500	7,500
繰延税金負債	132,940	146,092
役員退職慰労引当金	181,283	195,108
退職給付に係る負債	702,603	692,025
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	3,591,127	3,468,460
負債合計	5,812,432	5,740,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,363,210	2,556,788
自己株式	△421,413	△421,629
株主資本合計	9,729,522	9,922,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	314,162	344,175
為替換算調整勘定	46,162	82,491
退職給付に係る調整累計額	2,525	5,167
その他の包括利益累計額合計	362,849	431,834
純資産合計	10,092,372	10,354,718
負債純資産合計	15,904,804	16,095,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	4,027,437	4,332,790
売上原価	3,032,062	3,109,364
売上総利益	995,374	1,223,425
販売費及び一般管理費	931,678	971,507
営業利益	63,695	251,918
営業外収益		
受取利息	299	101
受取配当金	24,374	23,773
為替差益	—	26,907
その他	8,291	7,618
営業外収益合計	32,965	58,401
営業外費用		
支払利息	10,934	8,396
為替差損	8,469	—
その他	208	280
営業外費用合計	19,612	8,677
経常利益	77,047	301,641
特別損失		
固定資産廃棄損	24,135	1,240
特別損失合計	24,135	1,240
税金等調整前四半期純利益	52,912	300,401
法人税等	24,103	45,581
四半期純利益	28,808	254,819
親会社株主に帰属する四半期純利益	28,808	254,819

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	28,808	254,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145,994	30,013
為替換算調整勘定	6,432	36,329
退職給付に係る調整額	3,661	2,641
その他の包括利益合計	△135,900	68,984
四半期包括利益	△107,091	323,804
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107,091	323,804

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	52,912	300,401
減価償却費	243,580	260,571
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△5,816	△5,987
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,687	13,825
受取利息及び受取配当金	△24,674	△23,875
支払利息	10,934	8,396
固定資産廃棄損	24,135	1,240
売上債権の増減額(△は増加)	349,360	△362,863
たな卸資産の増減額(△は増加)	△102,251	△70,703
仕入債務の増減額(△は減少)	△234,749	126,262
未払又は未収消費税等の増減額	6,723	△1,343
その他	61,185	126,201
小計	385,027	372,125
利息及び配当金の受取額	24,674	23,875
利息の支払額	△10,934	△8,396
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,914	20,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	390,851	408,402
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△506,449	△493,233
無形固定資産の取得による支出	—	△29,280
投資有価証券の取得による支出	△3,491	△3,699
貸付金の回収による収入	189	3,428
その他	△3,015	△2,797
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512,766	△525,581
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△28,068	18,724
長期借入れによる収入	1,000,000	—
長期借入金の返済による支出	△618,615	△244,315
リース債務の返済による支出	△50,797	△7,263
自己株式の取得による支出	△215	△216
配当金の支払額	△94,801	△61,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	207,501	△294,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	△671	23,399
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	84,916	△388,235
現金及び現金同等物の期首残高	4,769,074	4,578,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,853,990	4,190,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。